



通算第104号

1965~1966-4-13

函館北ロータリークラブ

第93回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

C P H ティーンストラ R I 会長のメッセージより

行動・強化・継続性

価値があると判明したものを保存すること

不成功に終わったものは、放棄すること

改善の余地あるものは、補正すること

なお一層の進展を計る価値あるものは伸張すること

過去において等閑に付されていたものを改めてとりあげること

新計画並びに新しい活動を創始すること

本日のプログラム

会員卓話

海難物語

山内一雄君

司会 遠藤会長 斉 唱 奉仕の理想

ビジター 朝倉治郎(苫小牧 機械工業)

細居俊司君他7名(函館) 西村敏雄君他3名(函館東)

お知らせ

1 4月29日は祭日につき例会は休みです。札幌幌南 苫小牧

2 仮クラブ設立。延岡東 猪苗代 東京城東

卓話 10年後のテレビ放送に就いて 西村会員

1968年にはメキシコ・オリンピックがカラーで見られると言われてい
ますが、10年後のテレビ放送はどうなるでしょうか。

NHKでは今年放送衛星研究費として2億円の予算を計上し、技術研究のほ
かに各国の実情調査、国内調整にあててることになりました。アメリカでは既に
1962年に、テルスター1号によつて通信衛星によるヨーロッパとの電波中
継に成功し、63年にはシンコム2号、64年にはシンコム3号(東京オリ
ンピックに使用)を打ち上げており、ソ連でも昨年モルニア1号、2号を打ち上
げています。通信衛星は世界の遠隔地との即時通信が出来る重要なもので、現
在宇宙には太平洋上にシンコム3号、大西洋上にアリバードがあります。

ところで、アメリカ一国だけでは通信衛星は無意味なので、61年に「アメ

られました。ロシアは南千島も自国領土だと主張していたが、日本に開港させ
る条件として譲つたのです。その後も何度かトラブルがあり、明治8年に条約
改正が行なわれ、日本は樺太南部を放棄し、交換に中北千島をとり、樺太漁場
を借りることになりました。これで一応解決し、北洋漁業が栄え、函館も繁栄
するに至りました。その後日露戦争で樺太南部をとつています。

さて第二次世界大戦の終戦直前の「ヤルタ協定」では、ソ連が日本から樺太
も千島もとるとの密約がありました。吉田茂氏の回顧録によれば、ダレス氏と
の交渉で南千島は日本固有の領土であり、これを放棄するのは遺憾であると主
張したが、「サンフランシスコ講和条約」ではあのような結果になつた。講和
条約を早く結ぶために止むを得ず押しきられたのであつて、南千島は未解決で
ある、と述べております。然しソ連は「ヤルタ協定」を盾にとり、解決済と考
えています。何れにせよ講和の時の日本の態度の曖昧さが失敗でした。

従つて今後は、政治的駆け引き(国家的利害)が入らない限り、北方領土問
題は解決しないであろうと思われます。

◆ 新入会員御紹介(新 善次君)

藤野 藤太郎 君 Tōtarō Fuzino

- △ 生年月日 明治36年2月1日
- △ 自宅住所、電話 函館市海岸町110 ②0752
- △ 勤務先 同上 有限会社 藤野薬局代表社員
- △ 職業分類 (大分類) 化学工業 (小文類) 薬舗
- △ 学歴 東京大原簿記専門学校卒
- △ 経歴 大正15年より薬種商開業 昭和24年より函館商工会
議所議員、昭和26年より函館市議会議員 現在に至る。
その間函館市議会副議長、函館薬業組合長、函館地方医薬
品小売商業組合支部長等につく。
- △ 御家族 奥さんリウさん(明治44年3月27日生)
長女千恵子さん(既嫁) 次女陽子さん(既嫁)
三女英美子(明治薬科大卒、共愛会病院薬局長)
四女文美江さん(既嫁) 長男晃君(北海道学大卒)
次男修君(日本体育大在学中)
- △ 趣味 書画、骨董、庭園
- △ 御結婚記念日 大正13年11月10日
- ◆ 先週の確定出席率 82.76%
- ※ 写真は次回掲載致します。

リカ通信衛星会社」を設立し、世界各国に呼びかけました。その結果64年には47カ国が「商業用世界通信衛星網に関する暫定協定」に調印しました。この設立資金総額は2億ドルで、日本も分担金400万ドルを支払っています。

放送衛星の目的はテレビの世界ネットワークです。海底ケーブルではテレビ電波を送ることが出来ないので、放送衛星に頼らざるを得ません。通信衛星と放送衛星は本質的には変わりませんが、衛星自体は相当違ったものになるようです。通信衛星の場合は中継線用であるので、雑音の少ないところに地球局をつくって衛星に対する送受信をすればよいのですが、放送衛星は直接受像者へ届けるため、雑音の多いところで、普通の受像機で、安いアンテナで受像するには大きな出力が必要となります。アメリカ航空宇宙局の長期実験計画によると10年後には重量4.5トン、出力35KWの原子力電源と、出力10KWのテレビ放送設備を衛星に積みこむことになっています。

今後の大きな問題として三つあります。一つは技術的問題です。低高度、中高度、静止の3種類の衛星があり、静止が選ばれるようです。又電波の無駄を無くするため真下だけに向く、指向性の強い電波を地上だけに送る開発が一番問題で、日本でも理化学研究所がこの研究をすすめています。

次は経済的問題です。1発打ち上げるのに30億円以上かかり、保持年数は3年にすぎず、故障でもすれば大変です。参考までに、マイクロ回線費として電々公社にNHKでは年額31億円、民放では23億円を支払っています。

最後に国際問題ですが、主義、思想の異なる国家群が、今後どのような態度に出るかが大問題です。国連のような世界的規模か、地域別か、国家別になるのか、とも角体制別によつて、番組の編成、放送の管理、放送衛星の運営、放送方式の統一、国際無線通信規格の変更、走査線数の統一等、具体的に検討を要する事柄が山積しています。日本でも放送法の根本的な改正、NHKと民放の二本建のための大きな混乱も予想されます。

民放問題はさておいて、私達の夢は世界放送の実現です。それにより世界人類の平和、民族の融合、国際間の友好に役立つことでしょう。又教育や医学での利用は後進国に益すること大です。更にポータブルテレビの活用により、全世界の家庭で、エベレスト、南極等の探検や、月世界に人間が到着する感激の実況報道が見られる日も速くないと思われま

先週の出席率 83% (函館90% 函館東87%)

新入会員
藤野 藤太郎 君



通算才105号
1965~1966-4-20
函館北ロータリークラブ

第94回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

卓話 精神衛生について 市立函館保健所長 重野謙次氏

- 司会 遠藤会長
- 斉唱 手に手つないで
- ビクター 須田広之君他4名(函館) 中村重夫君他4名(函館東)
- 幹事報告

1 5月8日の函館東クラブ、5月5日の函館クラブの例会は祭日のため休みとなります。5月4日の当クラブの例会には全員御出席下さい。

2 5月29日のフォーラムには、当クラブ全員の出席を予定しております。都合で欠席が予定されている方は、予め幹事まで御申し出願います。

会員卓話 海と船と遭難 山内一雄君

海のある限り船は必要です。そして船は生き物であると言われます。国籍があり、船難港があり、高等動物と同じような骨格と呼び名があり、又女性に見立てられる等、皆様御承知の通りです。

私達が船を造る時の条件としては次のようなことがあります。

- 1 水に浮遊する物体としての軽快さ
- 2 水上を走るに適した形態
- 3 運動の原動力と、船本態との相関性の適応
- 4 航海性、波波性、耐久性及び安定性の保持
- 5 強力に対する構造の力学的合理性
- 6 空気抵抗に対する流線形

西南7 性格主要条件の総合的統合

これ等の点を主として、船舶安全法に基づき、海運局、水産庁の製造検査及び2年毎の中間検査、4年毎の定期検査が行なわれています。

北海道在籍の木造船も、最近鋼船化が活発になつて来ました。木造船が鋼船に変わる原因は、経済的理由、溶接技術の進歩、耐用年限等によるものです。

航海の安全に寄与する燈台は、紀元前280年エジプトに造られた(石台に鉄籠)のが始めて、日本では天智天皇3年宅岐、対馬に烽火台が、明治2年東京湾に洋式の観音崎燈台が造られています。

現在の船舶には近代設備が取り入れられ、無線電信電話は勿論、万向探知機